

四国・水こぼれ話

Water Information Saloon Shikoku

談話室 Vol. 47

人と自然が出会う場所「清流穴吹川」

徳島県 美馬市長

まきた ひさし
牧田 久



平成 17 年 3 月 1 日に徳島県西部に位置する 3 町 1 村が合併し、人口約 3 万 5 千人、面積 367 平方キロメートルの県内 6 番目の市として美馬市が誕生しました。本市は、日本に誇れる清流や剣山等の美しい山々と、うだつの町並みや寺町といった歴史ある文化財とが暮らしの中に息づいており、また、高速道路のインターチェンジ等があり、県西部の中核都市として、自然と文化と人が調和している市です。

さて、美馬市は四国三郎の愛称で親しまれている吉野川の中流域にあり、吉野川は雄大に東西に流れております。そして、穴吹川が南北に走り、吉野川に注いでいます。穴吹川は 10 年連続、水質四国一（四国地方整備局調査による）を誇り、四国一の清流の座を守り続けており、「清流穴吹川」の名を全国にとどろかせております。

この穴吹川は剣山系の麓に源を発すいくつもの沢の水を集め、南北に走ります。その流れをたどり、北部の平野から南部の山間へ入るとその水は一段と清冽さを増してきます。やがて四季折々の渓谷美を見せる「剣峡」と称される切り立った断崖が両脇にそびえ、所々でいくつかの滝が姿を現します。また源泉近くの木屋平地域では、カルシウムイオンたっぷりの水が湧き出ており「川原

のご神水（かわはらのごしんすい）」として祭られていたほどの水でもあります。

近年では、水・自然に癒しを求めて多くの方が訪れます。アウトドアスポットや宿泊施設など充実しており、毎年市内外はもちろん県外からも大勢の人がやってきます。水遊び、釣り、キャンプ等楽しみ方は人それぞれですが、ベストシーズンはやはり水と光が最高に輝く夏ではないでしょうか。

そんなにぎわいのピークは毎年 8 月に開催されます「穴吹川筏下り大会」です。今年は第 20 回大会として 8 月 6 日（日）に開催される予定です。当日は木材・竹材等を使った手造りの筏が 80 隻以上あつまり一般の部、一般エンジョイの部、中学生の部に分かれてそれぞれ競います。また、決勝点付近ではバザー、あゆのつかみ取り等多くのイベントも開催されます。（問い合わせは実行委員会 TEL 0883-63-3114 または美馬市ホームページまで）

現代の人間には「癒し」が必要であると言われております。ぜひ清流穴吹川に触れていただき、自然により、また、レジャーにより癒しを求めてはいかがでしょうか。



昨年開催された穴吹川筏下り大会の様子



四季折々の渓谷美を魅せる穴吹川



水質四国一の穴吹川（上流付近）